



私たちも広める教育

Nana Goto

# 提案のきっかけ



私たちの学校では、一人一台ずつPCを持ち、新しい機能を学習したり、授業の幅を広げたりして活用している。しかし、上伊那でもまだ一人一台ない学校だってある。そして、世界を見てみると**5700万人**の子供たちが学校に行けておらず、読み書きができない大人は**7億6000万人**いることを知った。

さらに、開発途上国と呼ばれる国では、**小学校に行ける確率は15%**で**中学校に行ける確率は50%**だそう。

こんな状況の中、私たちだけPCを使っているが良いのだろうか？これは不平等ではないか？自分たちに何かできることはないか？自分も世界の子どもたちを少しでも**救いたい**と思った。

## 提案

私は、全校の人にそのことを知ってもらい、一人ひとりが今がどれだけ幸せか理解することが大切だと思う。なぜなら、その事によってPCを使うことの大切さや携わった人々への感謝が生まれると思ったからだ。そうなるために私は教育を支援し懸命に取り組んでいる様々な方を他の人に知ってもらい、自分もその取り組みや活動に賛成ということを確認にしたいと思う。例えば、女の子にも教育を受ける権利があると銃で打たれても届け続けた、マララ・ユフザイさん。私はこの活動を行ったこと自体に勇気があり素晴らしいことだと思う。



## 提案 2

そして、募金をし、そのお金で文房具をプレゼントするのも一つの手だ。世界には、お金がなくて学校に通えなかったり、十分な教育が受けられないような立場の人も大勢いる。その人達からしたら、きっと文房具があるのはとても嬉しいことだと思う。現状を知るだけでなく少しでも「明日も生きていこう！」と思えるような取り組みが精神的に大切だと思うからだ。さらに、砂や地面に書くと白くうつるチョークのようなものもあったら良いな～と思う。鉛筆や紙さえない彼らにとって文字は大切だと思うからだ。



## まとめ

このように、私は一人ひとりの教育に対する意識を高め、教育を受けているありがたを受け止めることが大切だと思う。マララさんのように今ここにいる世界の人全員が思いを届けることは、相当難しい。でも、今の自分の思いを、誰かに伝えることは誰にでもできることだと感じる。なので、今自分が受けている教育を通してたくさんの人とつながり、思いや大切さを伝えていきたい。そうすれば世界の教育の輪がもっと広がり、**たくさんの子供が学び合う**ことができる、私は信じている。

